



## 主な内容

### 1面

- ◆12月定例会の動き
- ◆議決の概要

### 2・3面

- ◆一般質問
- ◆意見書・決議
- ◆計画的な休憩導入
- ◆県議会クイズ プレゼント付き!

### 4面

- ◆委員会レポート
- ◆決算特別委員会の審査結果
- ◆予算特別委員会を設置
- ◆「埼玉県動物の愛護及び管理に関する条例」を改正
- ◆「埼玉県5か年計画」を可決
- ◆フォトコンテスト入賞作品決定!

## 会派別所属議員数 令和4年1月20日現在

会派名(略称)	所属議員数
自民	48人
県民	13人
民主フォーラム	9人
公明	9人
共産党	6人
改革	1人
無所属	1人
計	87人(欠員6人)

**題字** 埼玉県立浦和商业高等学校 3年生  
高野 彩香 様

**表紙写真** 第16回埼玉県議会フォトコンテスト 入選「僕へのプレゼント」  
撮影者：小林 直治 様 撮影場所：さいたま市 岩槻区



右記のQRコードを読み込み、アプリ「COCOAR」をダウンロードして、上の写真にスマートフォンをかざすと、フォトコンテストの他の入賞作品をご覧になれます。  
QRコードは(株)デンソーウェブの登録商標です。iPhoneはApple Inc.の商標または登録商標です。AndroidはGoogle Inc.の商標または登録商標です。

iPhone用



Android用



県議会マスコット「ポッコ」

## 12月定例会の動き

12月2日(木)から12月22日(水)までの21日間にわたり開かれました。

<b>12月2日</b>	<b>開会日</b>
知事提出議案について、知事から提案説明が行われました。	
<b>12月8日～10日 13日・14日</b>	<b>一般質問</b>
15人の議員が質疑・質問を行い、活発な論議が行われました。(2・3面)	
12月14日に、知事追加提出議案について知事から提案説明が行われました。また、議員提出議案について、提案者から提案説明が行われました。	
<b>12月16日</b>	<b>常任委員会</b>
補正予算・条例などの議案および請願の審査などが行われました。(4面)	
<b>12月17日・20日</b>	<b>特別委員会</b>
議案および付託案件の審査が行われました。(4面)	
<b>12月22日</b>	<b>閉会日</b>
各委員会の委員長報告を受けて討論・採決が行われました。	

## 議決の概要

### ●知事提出議案

- 令和3年度埼玉県一般会計補正予算(第12号)  
歳入歳出予算補正額 36億1,663万円  
・ポストコロナの新しい生活様式を見据えた社会経済活動の活性化に向けた支援や介護施設等における新型コロナウイルス感染症対策の継続に要する経費 など
- 令和3年度埼玉県一般会計補正予算(第13号)  
歳入歳出予算補正額 383億1,641万8千円  
・「ワクチン・検査パッケージ」等に必要無料PCR検査・抗原定性検査の実施や生活困窮者への支援に要する経費 など
- 知事の権限に属する事務処理の特例に関する条例の一部を改正する条例  
など19件を可決、そのほか1件を承認、1件を修正可決、2件を認定、12件に同意

### ●議員提出議案

- 埼玉県動物の愛護及び管理に関する条例の一部を改正する条例(4面)  
など9件を可決

梅澤佳一 埼玉県議会議長

岡地 優 埼玉県議会副議長

暦の上ではまもなく立春を迎えますが、まだまだ寒い日々が続いております。県民の皆さまにおかれましては、いかがお過ごしでしょうか。

昨年を振り返りますと、まず思い起こされるのは、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催です。1年の延期、無観客での実施と新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けましたが、選手が持てる力を振り絞り試合で戦う姿は、私たちに勇気と元気を与えてくれました。その中で、本県ゆかりの26選手がメダリストとなったことは、埼玉県民にとって大変誇らしく喜ばしいニュースとなりました。

また昨年は、明治4年に本県が誕生して150周年の節目の年に当たり、本県の魅力を県内外へ発信したプロジェクトと渋沢栄一翁の活躍を描いたNHK大河ドラマ「青天を衝け」の放送とが相まって、例年以上に本県が注目されたものと感じています。

ここで忘れてはならないのは、150年の歴史の中で先人たちが、自然災害、伝染病や戦禍への対応など、本県の発展のために多くの困難に立ち向かい、乗り越えられて現在の本県を築き上げられたことです。

今、私たちの前にも人口減少・少子高齢化のほか、気候変動や感染症、超スマート社会への対応など、さまざまな問題が立ちはだかっています。特に、新型コロナウイルス関連では、昨年引き続き、感染防止対策、医療体制の確保とともに、傷ついた経済の回復にも取り組み、この難局を乗り越えなければなりません。

私たちの責務は、先人たちが築き上げてきた本県を、さらに安心して暮らせる豊かな郷土として次の世代に引き継いでいくことです。そのためには、車の両輪である県議会と県執行部が切磋琢磨し必死に知恵を出し合い、議論を重ね、一丸となって取り組むことが重要です。

「人生は努力にあり」とは渋沢栄一翁の言葉です。私たち県議会も、引き続き安心して暮らせる豊かな郷土埼玉の実現に向けて、全力で努力してまいります。

どうぞ本年も、ご支援ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。